

## 令和 6 年度第 3 次計画フォローアップを踏まえた 第 4 次計画の検討に向けた課題について

### 1. 学校安全に関する組織的取組の推進

- 学校安全計画の活用による、教育活動全体を通じた安全教育の取組の更なる推進
- 学校安全の中核を担う教職員の配置促進や研修の充実等をはじめとする、校内組織体制の充実
- 教員養成段階をはじめ、教職員に対する AED を用いた実習を含む一次救命処置 (BLS) に関する研修の充実

### 2. 家庭、地域、関係機関等との連携・協働による学校安全の推進

- 学校安全における コミュニティ・スクールの仕組みの更なる活用
- 防犯及び交通安全に専門性を有する スクールガード・リーダーをはじめとする地域人材の確保・育成
- 「学校における安全点検要領」の更なる普及と、学校の働き方改革を踏まえた効率的・効果的な安全点検のための、外部専門家・デジタル技術の活用や、地域住民等の参画促進
- 能登半島地震の経験等を踏まえた、自治体・地域・学校間での 避難所運営に関する事前協議等の必要性の更なる普及や、早期の学校再開・学びの確保支援などの取組の全国的な体制整備

### 3. 学校における安全に関する教育の充実

- 次期学習指導要領の検討状況も踏まえた、安全教育の 指導時間の確保や指導方法の工夫、評価の在り方等に関する更なる検討
- 地域の関係機関等との連携による、実践的な防災教育や自転車等に関する交通安全教育の普及
- 一人一台端末や生成 AI 等の デジタル技術を踏まえた、効果的な安全教育の取組に関する検討
- 「生命(いのち)の安全教育」、近年の猛暑を踏まえた熱中症対策、SNS に起因する犯罪被害等、現代的課題への対応

#### 4. 学校における安全管理の取組の充実

- 「学校における事故対応指針(改訂版)」の更なる普及と、事故情報の集約・分析、取組の改善等につなげる仕組みの構築
- 「学校における安全点検要領」の更なる普及と、学校の働き方改革を踏まえた効率的・効果的な安全点検のための、外部専門家・デジタル技術の活用や、地域住民等の参画促進【再掲】
- 避難所における冷暖房機器の確保など、学校施設の防災機能強化等の更なる推進
- 生成 AI 等のデジタル技術や事故データの活用など、科学的なアプローチによる事故予防の取組の更なる推進

※上記の課題の検討に当たっては、全体を通じてセーフティープロモーションスクールの考え方を取り入れた学校安全の推進の観点が必要。